私の海外語学研修を通しての貴重な経験

海外交流

重 松 泰 明*

My valuable experiences obtained through studying abroad

Key Words：studying abroad, business English, experiences overseas, cultural exchange

1．はじめに

私は平成11年5月から翌3月までの11ヶ月間，大学院前期課程1回生の期間を休学させて頂き，語学研修のために留学をしていました．5月から10月まではカナダのバンクーバーで語学学校に通い，一旦帰国した後，11月から翌3月までオーストラリアにワーキングホリデーメーカーとして滞在しました．ワーキングホリデーとは，働きながら生活をすることで現地の文化を学ぶという政府間で取り決められた制度です．本稿では，この語学研修について，またこの休学期間に私が海外において経験したこと，実感したことについて書かせて頂きたいと思います．

2．留学するまで

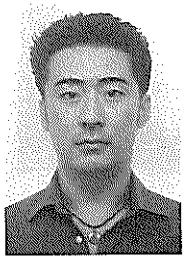
私が留学を決意したのは，大学4回生の10月頃で，大阪大学工学部電子工学科西原研究室で卒業研究に取り掛かりつつあるところでした．その頃私は，それまで普通に大学受験をし，大学に通い，研究室配属を受けて，大学院の入試を受けるというありきたりな自分の生活に何か刺激が欲しかったのだと思います．そこで私は日本ではできないような経験を得るために，そして色々な国の人と文化交流をするために英語の学力をつけるため，海外留学することを決意しました．

私のように，大学院に入学してからすぐ休学を希望するような学生は今までいなかったらしく，電子工学専攻の先生方，特に指導教官である西原先生，当時の専攻長である濱口先生には本当にご迷惑をかけたと思います．しかし，西原先生は全面的に私を応援してくださり，また私がカナダに発つ前には「“英語を話せるようにならなくては”と気負う必要はない．精一杯良い経験をして来い．」というお言葉を頂き，私は本当に勇気付けられました．

出発するまでの手続きなどを簡単に紹介させて頂きます．私はカナダの語学留学の手続きを始めたのは2月の初め頃でした．大学の生協を通して留学専門の代理店に依頼をし，語学学校とホームステイの手配をしてもらいました．代理店を通しますと手続きも楽ですし，安心できます．しかし今思い返しますと，他人に頼らず自分で語学学校を調べ，自分で手続きをした方がより良い経験ができたのではと少し後悔もしています．

3．語学学校について

私は社会にでたときに役に立つビジネス英語を身に付けたいと思っていましたので，普通の語学学校ではなく，ビジネス英語学校に通うことに決めました．私がバンクーバーで通っていた語学学校は，Canadian Business English Institute(CBEI)というところです．Business English courseは3段階にレベルが分かれており，各クラス10人から15人で構成されます．1番下のクラスでも日常会話はできる程度の英語力が必要とされます．1番上のクラスになると英語を学ぶというより，ビジネスを学びに来ているという生徒ばかりで，みんな英語を自由自在に扱うことができています．私は入学した時は1番下のクラスで，卒業したときは真ん中のクラスでした．こういう学校ですので生徒のほとんどが社会人で，平均年齢も27才くらいと他の語学学校と比べてはるかに高いです．生徒の数は100人から120人く



* Yasuaki SHIGEMATSU
1977年3月5日生
1999年大阪大学工学部電子工学科卒業
現在，大阪大学大学院・工学研究科・電子工学専攻，博士前期課程在学中
TEL 06－6877－5111(内3602)
FAX 06－6879－7793
E-Mail shige@ele.eng.osaka-u.ac.jp

らいで，生徒の国別の割合は南米(コロンビア，ベネズエラなど)が30%，日本，韓国がそれぞれ20%，中国，台湾などが10%で，他メキシコ，ドイツ，スイス，ユーゴスラビアなどからも来ています．またカナダへの移住民のためのクラスがあり，そのクラスは本当に色々な国の人がいます．

授業の構成は毎月テーマが決まっており，マーケティング，国際ビジネス，トレーディング，ファイナンス，マネージメント，仕事探し，法律などです．授業はオーラル，ライティング，ビジネスの3つに分かれています．オーラルではビジネスの場でのミーティング，電話の応対，発表などを勉強します．例えば私が行った発表は，自分がイランに事業を展開する会社の人間という設定で，イランで仕事を行うにあたって注意しなくてはいけない文化の違いなどを実際にイラン人の方々にインタビューをして調べ，その報告書を作成し発表するといったものでした．また毎週スピーチがあり目的に応じたスピーチをする練習をします．ライティングでは，依頼，お礼，苦情などの手紙，メモ，Eメールの書き方を習ったり，報告書，履歴書の作成などをします．ビジネスの授業では，その月のテーマについて勉強し，それに必要なビジネス英語の専門単語などを習います．この授業でもビジネス交渉や発表の練習をします．例えば実際に私が行ったのは，ハウスリネンの会社の工場を造るとして，どこに造るかを納得できる説明をつけて発表したり，自分がマクドナルドの人間で，ベトナムにマクドナルドを進出させるためにベトナム政府に交渉するというシミュレーションをしたりしました．また，毎週クラスの代表が新聞や雑誌からテーマを探し出してきて，そのことについてみんなでディスカッションをします．

さらに毎月末にはプロジェクトがあり，例えば同じビジネスの3つの店の比較で，実際に店に行ってそれぞれの店員にインタビューをして3つの店のコンセプトなどを比較，評価し自分がそのビジネスを始めるにあたっての企画を発表するというものです．他に自分が金融関係のアドバイザーで投資家に投資のアドバイスをしたり，年齢差別に関するディベート，就職活動のシミュレーションなどを行いました．

また，学校では毎週末といって良い程課外活動があり，ハイキング，サイクリング，カヤッキング，ピクニックなどをしています．他に映画鑑賞会や展覧会，博物館に行ったりします．これらの活動のほとんどは企画から情報収集まですべて生徒たちで行っています．

このように改めて紹介してみると，本当に色々なことをやってきたなと実感します．私はCBEIで学

写真1 語学学校のクラスメイトたち

写真2 ピクニックに行ったときの集合写真

Canadian Business English Institute

CBEI

CERTIFICATE

This certifies that

Mr. Yasuaki Shigematsu

has successfully completed a 400 hour program in

International Business English 200

as prescribed by the Canadian Business English Institute.

Given under my hand and seal of office at Vancouver, Canada this day of September 26, 1999.

Principal

Program Coordinator

写真3 卒業証明書

んで，本当に貴重な経験をしたと思っています．プロジェクトの時などは実際に企画や発表などをして，やりがいがあり満足しています．

4．自分が感じたこと

カナダでの生活を通して，私は本当に色々なことを感じ，経験しました．語学学校でのディスカッション，プロジェクトの準備など，みんなで話し合う，意見を言い合う機会が良くありました．そんな中で，日本人はあまり積極的に発言をしないということを感じさせられました．みんな良い意見を持っているのになぜか発言をしません．おそらく，自分の意見が人から非難されるのを恐れているのだと思います．しかし，海外では発言することで参加しているとみなされるので，いつも日本人は先生たちから注意を受けていました．また自分の意見を言わないと賛成していると思われるので，私はなるべく発言するように心がけていました．

さらに自分の考えを相手に理解してもらうことのたいへんさを実感しました．もちろん話をしている相手は色々な国の人で，文化の違う人たちに私の考えを伝え理解してもらうには本当に苦労しました．1つの原因は英語で伝えなくてはいけないということでしょうが，もう1つはやはり文化が違うと考え方も大きく異なるということです．誰の考え方が正しく，誰が間違っているではなく，みんなそれぞれ正しいと思います．しかし，私が当然と思っていることでも他の人にとってはそうでないことは多々あります．ですから私の考えを理解してもらうためには，自分自身でなぜそう思うのかを整理して，すべてを分かり易く相手に伝えなくてはいけないということに気づきました．しっかりと筋道を立てて自分の考えをまとめるという事は，実は日本で生活していても大切なことであると思いますし，研究の場においても必要なことだと思います．また，この様なことに気をつけて自分の考えを伝えようと努力することで，自分の英語力も向上したように感じました．

カナダから一旦帰国した後，私はワーキングホリデーメーカーとしてオーストラリアに行き，果物の収穫などの仕事をしながら資金を調達して生活をしていました．オーストラリア人をはじめ多くのヨーロッパ人などにも会いましたが，やはり彼らは自分の考えを素直に伝えることがうまく，私はカナダで感じたのと同じような経験をしました．

5．おわりに

私が1年間休学し，その間に海外で経験したこと，感じたことを紹介させて頂きました．この海外での経験を通して，私は自分の考えを伝えることの大切さを知りました．この経験はこれから私がどのような立場の人間に成ろうとも有意義なものであると思います．これら得てきたものを自分の自信に変えていこうと思います．最後になりましたが，私の休学を快く許可して下さった大阪大学大学院電子工学専攻の西原浩教授ならびに，電子工学専攻の先生方，また西原研究室諸氏に心から感謝いたします．